

(左ページ下より続く) 「遠くから車で駆けつけました。震災から7ヶ月になりますが、とても贅沢な気持ちにさせていただきました」と、晴れ晴れとした表情で話される方や、タペストリーに対する質問を女子美大生にされている方もいて、帰り難いお客様でいっぱいでした。

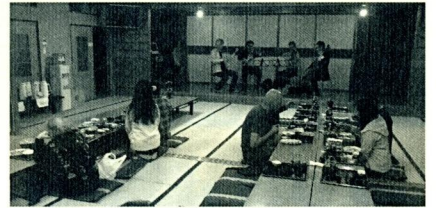
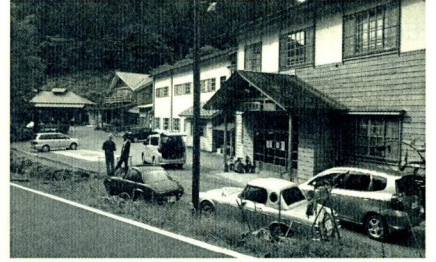
♪ 11日を期限に退去される避難所の皆さんに、急遽、演奏のプレゼント(宿泊した追分温泉旅館にて)

「あたりえDaDa」併設の喫茶店で温かいお茶をご馳走になり、興奮冷めやらぬオーナーやお客様との懇談が続き、気が付いたら6時過ぎ。当初の日程では、この日の演奏はこれで終わりでしたが、昨晚から宿泊している追分温泉旅館は20人の被災された方を受入れ、営業中止し避難所となっており、「10月11日には市の宿泊補助金が切れ、多くの方が地元から離れた仮設住宅に移らなければならない」との旅館の女将さんの情報で、急遽、旅館での演奏を7時30分から約束していました。

急いで車に乗り込み旅館に向かいましたが、到着したのは開演の20分前！しかしメンバーは疲れも見せず、定刻どおりの開演です。聴いていただいた



のは避難されている方に加え、復興工事に従事されている職人さんや、イギリスBBC放送局の取材クルーの方、日本フィル定期会員の石巻の実家のご家族など含め約40人。旅館のたずまいに合わせた「峠の我が家」、女将さんのかわいいお嬢さん2人のために「となりのトトロ」、イギリスにちなんで「イエスタディ」、「ジュピター」、30分あまりの演奏でしたが大変喜んでいただき、メンバーの表情も清しさに溢れていました。



♪ 津波は介護施設も容赦なく飲み込み、入所者は仙台へ避難・・・(仙台市の介護施設の皆さんへ)

前日5日の大学&アトリエ&宿泊避難所と3ステージをこなしたメンバーは、仙台市内の介護施設へ向かうため、6日早朝に名残惜しくも石巻を出発しました。今回の震災と津波で多くの介護福祉施設も被災し、宮城県内では仙台市内の施設へ転所された方が多くいらっしゃいます。向かう先は仙台中心部から北に車で30分程、泉区の介護老人福祉施設「泉ふるさと村(泉白陵会)」です。ここには福島から入所された方も含め、利用者約120人中20人は震災後に来られた



とのこと。車椅子やストレッチャーに乗られたお年寄りも含めロビーは満杯。「みなさん、ちゃんと息してますか〜？演奏聴いたら、約束どおり大きな拍手ですよ〜！それでは日本フィルの皆さんお願いします！」施設長の明るい挨拶で演奏開始です。最前列に陣取り、演奏に合わせ気持ちよさそうに体を揺らすおばあちゃん。介護ボランティアさんのリードで「青い山脈」を歌うおじいちゃん・おばあちゃんに、メンバーも思わず弓に力が入ります。

。「ご家族と離れ沿岸部から移られたお年寄りも、面会の方も頻繁には来られず、寂しい思いをされています。こんなに元気に歌う人だったのか？と改めて思わせてくれる方がたくさんいました」。施設職員の方の、上気しつつ話された笑顔が今も忘れられません。

